

# 地域づくり協議会だより

発行日：令和5年 11月1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会 広報部

原稿募集中

一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

## 祝 令和5年度 連区敬老会

大和町連区にお住いの満77歳以上の方、およそ5,000名を祝福する敬老会を開催しました。式典には、一宮市長はじめ多くの来賓のお祝いのことばをいただき、高齢者代表のお礼のことばをいただきました。その後のアトラクションでは、『プラスバンド演奏』(大和中学校プラスバンド部)『大正琴演奏』(大和キー・ハープクラブ)に耳を傾けました。最後は、お楽しみ抽選会で盛り上がりをみせ敬老会を閉じました。会を滞りなく進めていただいた皆様、本当にありがとうございました。

期日 9月17日(日)

会場 大和中学校 屋内運動場

主催者 石田正月会長



中野一宮市長



来賓の皆様



服部日出男大和老連会長

先ほどは、中野市長様はじめ皆様より心温まるお祝い、励ましのお言葉を頂きありがとうございました。私たちは、グラウンドゴルフ・友愛訪問・清掃活動・子ども見守り活動・手作り雑巾贈呈など、様々な行事に取り組んでいます。これからも皆さんの応援をいただき共に元気に暮らしていきたいと思います。

本日は、大和中学校の生徒さん・同世代の演奏者の皆さんのお勅め、町内会長さん・民生児童委員さん多くのボランティアの皆さんのお力添えをいただき、本当にありがとうございました。

(会長お礼の言葉(一部))



大和キー・ハープクラブ



お楽しみ抽選会



大和中学校プラスバンド部

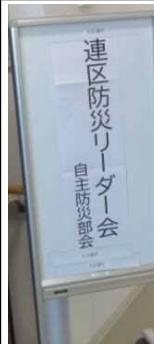


### ニコニコサロン

・開催期日 偶数月 第1水曜日、AM9:30～  
・開催場所 大和公民館

大和町連区地域づくり協議会主催、町長協議会、民生児童委員、児童育成協議会、老人クラブ連合会、社協大和支会の協力による連区の皆さんを対象のふれあいサロンです。

介護・認知症などの相談できる「萩の里」、高齢者や障害者の心配ごと相談「社会福祉協議会」の臨時窓口もあり、対面で対応できます。また、ゲーム・教養講座・もの作り・お茶をいただきおしゃべり等、ひとときを笑顔であたたかい場にしてくれます。



### 家具固定講習

期日 8月26日(土)  
場所 大和公民館



一宮防災ボランティアネットワーク あいち防災リーダー会 県家具固定推進員の伊藤善之氏らの講師より実技講習する機会を得ました。



窓ガラス飛散防止の仕方



家具固定の仕方

連区では、数年前より減災・防災の多様なニーズに対応するために2020年、1月より毎月1回、自主防災リーダー会を重ね、皆さんの総意として「自主防災部会」を立ち上げることができました。今までご尽力された皆さんありがとうございました。今後、「自主防災部会」が中心となり、連区の防災・減災事業を精力的に推進してまいります。

連区、33町内自主防災会の取り組みをリードし、大震災時の支援を要する人の安否確認や救出避難誘導など「助け合いの仕組みづくり」や避難所の地域組織名簿・運用上の諸課題等々、数々の話し合いが期待されております。





## 校長先生と 民生児童委員の懇談会

今年で5回目となる連区の小中学校の校長先生と民生児童委員の懇談会が開催されました。子どもの育ちに尽力されてみえる先生に児童生徒の様子や子どもとの関係性をいかに育していくか等、多くのことを教えていただきました。民生委員さんには、学校区会場の話し合いをまとめいただきました。



校長先生と民生委員との間で、率直な意見交換が行われました。中学校では、不登校生徒の状況、サポートルームの様子、先生たちの勤務時間外の自動音声の対応など。小学校では、異学年交流の復活、不審者対応、タブレットの使用については高学年から使用されているという話をいただきました。(徳田富士子)



大和西小学校学校区



中部中学校学校区



大和東小学校学校区

『先生を守る事により、より良い教育の未来に繋げていきたい。そのため地域の協力が必要』。登下校時、地域での見守りをお願いさせて頂きたい。また、あいさつなどこだわりなくかわせるように『まわりの大人は声かけをして安心を与えることが必要』と話されました。(勝又優子)



大和南中学校学校区

各地域の民生児童委員より登下校時の子ども達の様子、見守りの現状について報告がありました。質疑応答の中で不登校など子どもの心の問題を解決するための取り組みや専門機関について、そして、熱中症の対策についてていねいな説明を受けました。(日野康子)

## 鮎つかみどり・塩焼き体験とミニSLに乗ろう！

家庭学習部長  
小関 貴士

8月27日(日)、公民館活動親子ふれあい教室、大和公民館駐車場で子ども夏まつりとして「鮎のつかみどり」を開催しました。今年で13回目となり、夏休み最後の恒例行事に定着した感じで、午前中までの行事にも関わらず総勢1,000人にも及ぶ親子が集まり、公民館駐車場では長蛇の列が絶えませんでした。その日の朝からプールシートと木材で囲った水槽を作り、本日仕入れたばかりの生きのいい500匹の鮎を放流して子ども達が全身濡れながら素手で捕まえ塩焼きにして食べるといった『ヤナ感覚』の醍醐味を身近なところで体験しました。子ども達にとっては、夏の楽しい思い出として心に残りました。「鮎のつかみどり」のほかに、風船ヨーヨー、ポップコーン、かき氷のサービス、今年で2回目になる名古屋工業大学の学生の協力により石炭を使い蒸気で走らせるミニSL機関車を親子で乗せるイベントをしました。また、公民館の大会議室では、ニュースポーツの輪投げ、カローリングを子ども達に楽しんでもらいました。公民館活動と魅力事業の一環で家庭学習部の主催事業により前日から準備に取り掛かり、当日は公民館役員、町内と子どものボランティアなど、多くの皆さんのご協力のもと大成功で幕を閉じました。



鮎つかみ

ミニSL乗車

お菓子つり

かき氷

風船ヨーヨー